

いかりの反対はりかい



成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 66 号
R1. 7. 9

スマホがほしいと言う子どもに親役は「ダメ。絶対ダメ。我慢して。」と突っぱねます。「え、なんでダメなの、勉強するから」と粘る子どもの言い方と「うん分かった。我慢する。」という言い方では、親はどちらが、どんな気持ちになるか、それぞれ体験して話し合いました。

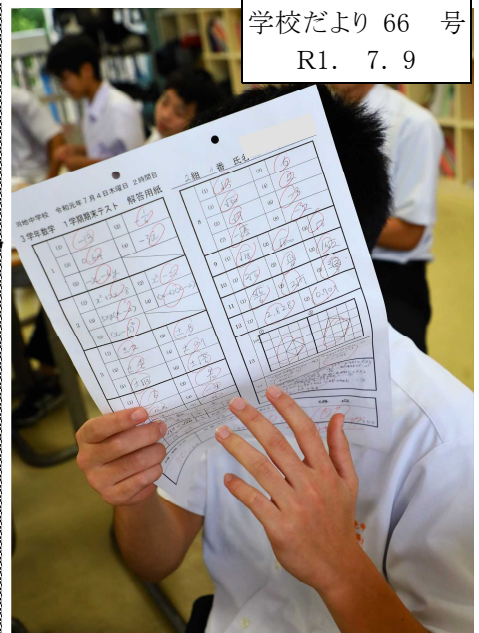


1年生は7月2日(火)、総合的な学習の時間にスクールカウンセラーのO・Y先生を講師に、人とうまくつきあう方法「コミュニケーション力」を身に付ける「ゲーム」に話し合いました。
まず、自分が20年後の未来を想像して、中学1年生になる自分の子どもとの会話のやりとりをロールプレイ(疑似体験)します。



この体験は、自分の態度や行動で相手に対する印象が変わることを体験するものです。大塚先生によると、「怒りは実は、相手の言葉動ではなく、自分の言動によって生まれてくるものだ」と説明します。その上で、「怒り」の原因は相手の気持ちを「理解」していないからで、相手を「理解しよう」とすると「怒り」はなくなる。

数学満点で自信をつける



正に、「いかり」の反対は「りかい」すること。納得です。「怒り」をコントロールする「アンガー・マネジメント」は以下の4つです。
●相手の言うことを素直に聞く
●お願いする
●困っている人を助ける
●落ち着く
大塚先生、有意義な時間をありがとうございました。



大塚先生は4校時に1年1組さん、5・6校時に2組さん、3組さんに入り、コミュニケーションの取り方を体験を通して学ばせてくれました。コミュニケーション力は大人になっても大切な能力・スキルです。表現力もそこから始まります。

期末テストが終わり、教科ごとに答案用紙が返却されて、解答解説と誤答レポートが作成されていきます。
3年2組の数学では、100点満点を2名の生徒が達成していました。
数学の学力が気になる本校での数学の満点は申し分ない得点です。学習での努力が結果に結びつきました。自信を持って学習を続けてほしいと願います。
思うように得点が取れなかった場合は、勉強の仕方を振り返って、変えてみることも検討してみよう。先生や友人にも勉強の仕方について相談してみよう。理解の仕方は個人差があるけれど、ヒントにもなる。

